

楓園

ISSUE
2022 6/1

94

FÛEN [フウエン]
Toyo Eiwa Jogakuin
Public Relations Report

特集1
特集2

新しい体制で迎える春
一粒のたね

—ともに学び、ともに育つ—

作家 林真理子氏寄稿
宮崎蒨菫さんを偲ぶ



東洋英和女学院
東洋英和楓の会

新しい体制で迎える春

新大学学長 就任挨拶



星野 三喜夫

学 長に就任いたしました星野でございます。私の学長としての使命はまず、東洋英和の建学の精神と伝統である「敬神奉仕」の教育のもと、本学の英和スピリッツとミッションを継承、発展させることです。そして、東洋英和女学院大

学の存在感を高めて参ります。

今年も桜の季節に新入生を迎えましたが、四季の彩り豊かで穏やかな佇まいの横浜校地のキャンパスとは対照的に、大学を取り巻く環境は厳しさを増すばかりです。

私は国際金融を専門とする金融機関で30年近く仕事をし、そこで培った経験や知見を次世代を担う大切な若者に教えたい、との思いで大学教員に転身いたしました。

社会のニーズは多様化しています。正解のない課題に向き合って、絶えず答えを見つけ出すことが求められています。本学の学生には、在学中

に社会との接点をできるだけ多く持ち、疑問や問いを得て、その解決のために学ぶ繰り返しの学修経験を重ねてもらいます。そして、自らの意志と行動力で可能性の翼を広げ、東洋英和の卒業生として自身が望むキャリアを切り拓いていってほしいと思います。

教員、職員皆で力を合わせ、本学のブランディングを強化し、「わくわく感」や「一体感」を共有できるキリスト教主義に基づく女子高等教育の大学にすべく、力を尽くして参る所存です。関係各位のご理解とご協力を宜しく申し上げます。

新小学部長 就任挨拶



吉田 太郎

小 学部長に就任いたしました吉田太郎です。出身は京都で、聖公会のクリスチャンホームで育ちました。小中高は公立校でしたので神様のことを友人と話すような環境になく、部活の練習が休みの日曜日に、こっそり教会へ通うような子ど

も時代を過ごしました。牧師の勧めもあり、同志社大学の神学部へ。聖職の道へ進むかどうか悩んだ末、大学院修了後、小学校教師の道を与えられました。そして、都内の女子校で23年間を宗教主任として、また9年間は教頭として奉職して参りました。

このたび、東洋英和女学院という歴史と伝統ある学院へ招かれましたことは、「神様のお導きにより」と表現するしか言葉が見つからない、というのが率直な思いです。

どうして私がここに招かれたのか、自分自身に問いかけながら「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をしなさい」

と、主イエスがシモン・ペトロに声を掛けられたガリラヤ湖畔に思いを馳せつつ、小学部の門をくぐる毎日です。

まずは東洋英和の歩んできた道程果たしてきたミッション「敬神奉仕」について学び、小学部の働きについて、先生方や同窓生の皆様、在校生の子どもたちから、よく教えていただきながら知ることに、確かなレガシーの「継承」が私に求められていることと存じます。その上で、新しい時代の要請に応える「変わらずに、変わり続ける」教育の実践を目指していけるよう祈ります。

同志社大学神学部卒業、同大学院神学研究科歴史神学専攻博士課程前期課程修了。1999年、立教女学院小学校教諭（宗教主任）に着任。2013年より同校教頭を9年間務める。2022年4月、東洋英和女学院小学部長に就任。

早稲田大学法学部卒業。日本大学大学院総合社会情報研究科博士前期課程修了。東京銀行（現三菱UFJ銀行）、海外投融資情報財団等を経て、2006年新潟産業大学経済学部教授、2018年より同学学長。2022年4月、東洋英和女学院大学学長に就任。

聖書の言葉

というのは、神の言葉は生きており、力を発揮し、どんな両刃の剣よりも鋭く、(中略) 心の思いや考えを見分けることができるからです。

(ヘブライ人への手紙 4章 12節)

不安な世の中です。一歩先もわかりません。永遠に変わらない真実は、聖書の御言葉です。神さまの御言葉は生きていて、力があります！御言葉は十字架と復活のイエスさまをあらわします。無責任な気休めの軽い言葉ではありません。神さまは、今、大事な皆様、お一人ひとりに「立ち帰りなさい」と、語られます。私たちの心の思いも状況もご存知です。神さまに叫びましょう。聴いてくださいます。

日本基督教団熊谷教会牧師 大坪 園子 (1991年小学部・1994年中学部卒業)

2022年度を迎え、新たな体制がスタートいたしました。
長い歴史のなかで育んできた伝統を守りながら時代に即した教育のさらなる充実を図るため
幼稚園から大学院まで、教職員一同、精進してまいります。
今年度もご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

前大学学長 退任挨拶



池田 明史

東 洋英和女学院大学に着任以来、四半世紀の歳月を経ました。最後の8年間は学長の重責を担う仕儀となり、まさに「疾風怒濤」の任期を過ごしてきたとの感があり
ます。就任時の御挨拶で大学を取り巻く環境が年々厳しさを増している

前小学部長 退任挨拶



山本 香織

中 高部（特に中3）の時分の私
は、結構やんちゃでした。そうしてただただ楽しく英和での日々を送っていた頃、このような将来があるとは予想もしていませんでした。同級生たちも私が小学部長に就任した時、仰天したはずです。し

と指摘させていただきましたが、現実の厳しさはさらに加速度をつけて進行了ました。この間、政府の主導する地方創生政策のあおりで首都圏に所在する大学の収容定員管理の厳格化の結果、検討を進めてきた本学の都心回帰計画を断念せざるを得なくなるなど、想定外の事態にも見舞われました。「本学の存在感を保ち、さらに高めていくために可能な限り尽力」すると見得を切ったとおり、自分では精一杯の努力を重ねてきたつもりです。しかし、それが必ずしも目に見える成果につながっていないのではないかと懼（おそ）れ

かし今にして思えば、その楽しかった日々の中で私は育てられ、人生の土台が築かれ、どう行動するのか、どう考えるのか、その時々私を動かすものを与えられていたのです。だから私も同じように、東洋英和で学び、巣立つ一人ひとりに言いたいです。往くべき道を示す声に耳を傾け、そこに立てば大丈夫、という確かな土台（神の言葉）に立って進んでもらいたいです。
ところで東洋英和では「小学部」なので、「部長」という役職名で本当によかったです。「校長先生」という言葉の持つイメージと自分があ

ます。とりわけ直近の2年は新型コロナウイルス禍という未曾有の状況に翻弄され、次々に立ち現れる難題に向き合うことに汲々となる毎日でした。それでも「行蔵ハ我ニ存ス。毀誉ハ他人ノ主張。我ニ与ラズ我ニ関セズ」という勝海舟翁の言葉を脳裏に去来させながら、ここにかどうか退任・退職する時期を迎えることができた。これもひとえに大学教職員をはじめとする東洋英和の同僚の方々のご理解とご協力の賜物と、深く感謝する次第です。

まりにかけ離れていたからです。自分と役職との違和感が消えないままだったことは、小学部のためには申し訳なかつたと思っております。しかし私には力がなくても神様にはおできになります。だから神様が愛してやまない小学部で、神様のお働きが進むために私が用いられることを祈ってききました。これからも神様は、小学部のことが大好きな子どもたち、大人たちをどんな時も守り、支えてくださいます。私も毎朝小学部のために祈ることを続けてまいります。14年の間いただいた数々のご支援に、心から感謝申し上げます。

東洋英和女学院高等部卒業。上智大学文学部教育学科を卒業した1979年、東洋英和女学院小学部に着任（1982年迄）。2001年東京神学大学院神学研究科博士課程前期課程修了。2002年、小学部に復職。2008年より小学部長を14年間務める。

東北大学法学部卒業。アジア経済研究所を経て、1997年、東洋英和女学院大学社会科学部に助教授で着任。2001年、国際社会学部教授。国際社会学部長、副学長を経て、2014年に東洋英和女学院大学学長に就任。同職を2期8年間務める。

Contents

表紙写真：幼稚園の子どもたちと大学保育子ども学科の学生

- P.01 **【特集1】**
新しい体制で迎える春
- P.03 **【特集2】**
一粒のたね
—ともに学び、ともに育つ—

- P.09 From the Garden of Kaede
楓の園から [学院 NEWS]
- P.15 Cartmell's Prayer [宗教教育委員会]
- P.17 教員紹介
- P.19 学院人事
- P.21 東洋英和楓の会

【楓園】で掲載している写真には、コロナ禍以前に撮影されたものも含まれています。



東洋英和女学院大学
大学の「英和の森」を散歩しながら
子どもと自然遊び



大学付属かえて幼稚園
本物の食器を使っておままごと

一粒のたね

—ともに学び、ともに育つ—

子どもたちは一人ひとりが、未来の希望へとつながる大切な一粒のたねです。
たねは、植えただけでは育ちません。芽が出るまで見守らねばなりません。
子どもたちを見守り育む東洋英和の幼児教育と保育者養成について紹介します。



大学付属かえて幼稚園
大きいどろだんごができたよ



東洋英和の 幼児教育

東洋英和の幼児教育は、1914年、女学校生徒の弟妹のための園として東洋英和女学校附属幼稚園（現、東洋英和幼稚園）が創立したことに始まります。その後、1973年に東洋英和女学院短期大学付属かえて幼稚園が開設（現、東洋英和女学院大学付属かえて幼稚園）。神の愛と恵みのもと、一人ひとりの自発性、創造性を大切にしながら、自由に伸びやかに、その子らしい成長を促すキリスト教保育を行っています。



東洋英和女学院大学
子どもが喜ぶ顔を想像して
おもちゃを手作り



東洋英和幼稚園
桃の実を
木に登って収穫



東洋英和幼稚園
実ったぎんなんは
七輪で炒って食べます

大学付属かえで幼稚園
ページント(降誕劇)の喜び
「イエスさまがお生まれになりましたよ」



東洋英和女学院大学
赤ちゃん人形を使って
沐浴の練習



東洋英和幼稚園
芋掘りの途中で
幼虫発見!



東洋英和幼稚園
砂場に作った温泉
あたたかいね



東洋英和幼稚園
今日は日本舞踊を観る会



東洋英和の 保育者養成

東洋英和女学院大学の人間科学部保育子ども学科では、子どものための教育とケアを総合的に学ぶことができます。教育の特色として、体験的な学びや実習で実践力を養い、「子どもと国際」「子どもと感性」「子どもと心理」の3つのコースで学生の適性や興味に応じたスキルを高めます。建学の精神「敬神奉仕」に基づいた伝統を継承し、教養と豊かな人間力を備えた保育者を養成しています。

東洋英和幼稚園
木工室で工作。
木で何を作ろうかな?



東洋英和幼稚園×大学付属かえで幼稚園

子どもの個性を育み 人生の土台をつくる

東洋英和の幼児教育が大切にしていることを、東洋英和幼稚園と大学付属かえで幼稚園の4名の先生に語っていただきました。

わたしのこれらの言葉を聞いて行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家を襲っても、倒れなかった。岩を土台としていたからである。

(マタイによる福音書7章24〜25節)

堤 両園に共通することかと思えますが、東洋英和幼稚園には都心とは思えない豊かな自然があり、子どもたちが思いっきり声を出し、走りまわられる環境があります。園庭の木々から多くのことを感じ、学ぶことができるのも、キリスト教保育を行ううえで大切な要素だと思います。



子どもにとって自分のありのままを受け入れてくれる場所があるのは大切（堤園長）

渡辺 東洋英和幼稚園は、砂場でないと掘ってはいけないという決まりごとはなく、好きなところを掘り川を作っては、友だちが転ばないように柵をたてたりしています。子どもたちがやりたいことを自由に実現できる場だと思います。

大瀧 堤先生がおっしゃったように、自然豊かな環境はかえで幼稚園も同じです。また、これも両園に共通することですが、子どもたちは織り物や木工等も楽しんでいきます。庭での遊びと室内での遊び、一人の遊びと仲間とつながる遊びを、それぞれが思い思いにできる環境を保証する保育でありたいと思っています。

永瀬 かえで幼稚園には高いイチヨウの木があります。子どもが自分の

力で登ることを大切にしたいので手伝わず、見守ります。毎日挑戦する子どもを励まし、登れたことを共に喜びます、子どもの力を信じて待つ場でありたいです。

堤 私たち4名は、東洋英和女学院短期大学（1995年、東洋英和女学院大学短期大学部と改称）の保育科の卒業生です。私が好きだったのは音楽リズムの授業です。グループに分かれ曲に合わせて踊りを考えたり、人と協同して何かを創造する楽しさがありました。個性を尊重し、型にはまらず、感性のまま自由に表現することを保育科で学び、東洋英和幼稚園でも同じ考えで実践しています。

渡辺 私は図工の授業が好きでした。東洋英和幼稚園では、子どもたちと一緒にその時の興味や季節に沿ってボードを飾っています。固定観念に縛られず、自由にも作りができています。

大瀧 授業で学んだこと以上に、先生方の人間性や、学生に心を込めて大切なことを伝えようとする姿が印象に残っています。先生方の言葉には、人間のおもしろさや深さ、「あなたは大事な存在としてつくられている」ということが散りばめられていたように思います。

永瀬 はつきり覚えているのは、芝葱子先生がおっしゃった「たい焼き



そのときの子どもの気持ち、感じていることを大切にしたい（渡辺保育主任）

屋さんではなく、ミケランジェロになりなさい」という言葉です。子どもを型にはめず、石の個性を見て彫刻するミケランジェロのように、その子の個性を見ることが大切ということを学びました。保育者がいかに尊く、大切な仕事であるかを痛感しました。

個性を尊重する キリスト教保育が 揺るぎない安心感を育てる

大瀧 ここに居る皆が同じだと思えますが、私が保育をするうえで大切にしているのは、子どもたちに「あなたは愛されている存在」と伝えることです。どんなことがあっても、あなたは神様に守られ愛されているということ、生活をなかで伝えていきたいです。

渡辺 ある日、一人の男の子が集まる時間になっても保育室に来ず、庭の隅で球根から芽が出ているのをじっと見ていたことがありました。

東洋英和の幼児教育探訪 東洋英和幼稚園

60年以上にわたり守られてきた趣のある園舎のまわりに、豊かな緑・自然土の園庭が広がる園です。毎日の自由な遊びを通して、子どもたちは自ら考え工夫する主体性と周囲への感謝の気持ちを養います。



生活を体験しながら遊ぶ 量のままごと部屋

おひつからごはんをよそい、陶器の食器に盛り付け、夜になると布団を敷いて……。
小さなお母さんは大忙しです。



季節の実を感じる 多彩な果物の木

イチヨウ、柿、桃、グレープフルーツ、金柑など、実なる樹木がいっぱい。五感を通して自然の恵みに触れ、神様の存在を身近に感じます。



表現する喜びを知る 音楽、リズム教育

和太鼓、木琴、ボンゴなどの楽器や身体を使い、感性のままに表現することを楽しんでいます。器楽や日舞に触れる機会もあります。

【座談会参加者】

大学付属かえて幼稚園



保育主任
永瀬 真澄



園長
大漣 知子

東洋英和幼稚園



保育主任
渡辺 みな子



園長
堤 加壽美



一人ひとりが「神様に愛されている存在」であることを子どもたちに伝えたい (大漣園長)

部屋に呼び戻すべきだったかもしれないが、子どもが何かを感じ、心が動いている時は神様の存在を感じている時でもあると思い、遠くから見守りました。マニュアル通りに動くのではなく、そのときの子どもへの気持ち、感じていることを大切にしたいです。

永瀬 子どもを年齢を問わず、その子なりに感じていることを大切にしたいです。まだ言葉でうまく表現できず、思い通りにいかないと友だちに手が出てしまうこともありますが、一方的に叱らず、叩いてしまった理由、気持ちを正面から受け止めることで、その子が次に進む一歩になればいいなと思います。

堤 子どもが成長していくうえで、共感してくれる人がいる、自分のありのままを受け入れてくれる場所があるというのは大切ですよ。東洋英和の幼児教育でこれからも引き継いでいきたいのも、人との関わり

なかで起こる「生の体験」だと思えます。何かを学ぶことは教材、パソコンでもできますが、嬉しい思いや悔しい思いは人と関わることでしか得られませんよね。

渡辺 水や泥に触れて「気持ちいいな」と感じたり、泥をかけた友だちが泣いてしまつてどうしようも葛藤したり……。自然のなかで培われる感性や、東洋英和が醸し出す、全てを包み込むようなあたたかさ、ぬくもりも大切にしていきたいです。

永瀬 卒園生が園に帰ってくる、クリスマスなどの時に焼いたクッキーの香りや屋根に登ったときの景色を思い出し、ほつたり、新しい力を得たりしているようです。子どもたちを根底から支える安心感や、先生や友だちと共に過「こす楽しさは幼少期に与えられるべきもので、なくしてはならないと思います。

幼児期の教育、経験はその子の人生の土台となる

大漣 かえて幼稚園は設立以来家庭を中心に子育てをする保護者と共に歩んできた園でしたが、働く女性が増えるなか、地域に根差す園として受け入れの形を変えていくという課

大漣 宣教師の先生の時代から受け継がれてきた東洋英和ならではのあたたかい雰囲気や、良質な絵本、美しく楽しい歌も残していきたいです。

大漣 本日のお話を通して、「敬神奉仕」の建学の理念に立つ両園の根っこは同じだと確認できました。幼児教育は人生の土台となるもので、私たち保育者の責任の重さに改めて身が引き締まる思いです。これから子どもたちの幸せを祈り合い、支え合つていきたいと思ひます。

大漣 本日のお話を通して、「敬神奉仕」の建学の理念に立つ両園の根っこは同じだと確認できました。幼児教育は人生の土台となるもので、私たち保育者の責任の重さに改めて身が引き締まる思いです。これから子どもたちの幸せを祈り合い、支え合つていきたいと思ひます。



子どもの個性を受けとめ、伸ばしてあげたい (永瀬 保育主任)

題もあります。守るべきことを大切にしながら、多様な立場の方々に向けてキリスト教に基づく保育の場を開いていくことができるように、改革していく時をとりえています。

堤 街が変わり、なじみのお店がなくなり、時代と共に保育のあり方も変わってきました。変えていくべきこともあるでしょうが、いつの時代も子どもに対する愛情は変わりません。今は核家族が多く、相談できる年長者が近くにいないため、保育者と保護者が共に支え合い、学び合うことが大切だと思います。



つべんに黄色いハマキが結んであるイチヨウの木

園児たちの憧れは、いつかつべんの黄色いハマキまで登ること。子ども同士で登り方を教え合うなど、この木をめぐる多くの物語が生まれています。



思い思いに砂と水と遊べる大きな砂場

園を見学に来た多くの人々が驚く砂場の広さ。一人で泥だんごを作ったり、裸足になって仲間と穴を掘ったり、砂の感覚を全身で感じながら遊んでいます。



お父さんたちと共に作る園庭の遊具

年に数回、父子が集まって仕事をする日を設けています。庭の遊具の多くは、お父さんたちが力を合わせて作ったものです。

たまプラーザ駅周辺に広がる、美しが丘地区にあります。子どもの自主性を重んじながら、他者と関わり合う保育を大切にしています。屋外、屋内問わず、子どもがやりたいことじつくり取り組める環境が整っています。

東洋英和の幼児教育探訪
大学付属かえて幼稚園

東洋英和女学院大学

リベラルアーツに 根差した東洋英和の 保育者養成

保育の専門家を養成する、東洋英和女学院大学人間科学部保育子ども学科。山本真実学科主任に、学科の特徴や目指す保育者像を伺いました。



人間科学部保育子ども学科
学科主任 山本真実 教授

東洋英和はキリスト教に基づく建学の精神、「敬神奉仕」に基づき、社会に貢献するということが今日まで培ってきた教育のベースとなっています。保育子ども学科でも、保育者となるための専門教育だけでなく、リベラルアーツに根差した人間教育

を行い、幅広い教養と豊かな人間性を持った保育者を養成しています。

東洋英和における保育者養成の歴史は長く、短期大学時代より信頼関係を築いてきたキリスト教主義の保育園、幼稚園、社会福祉施設をフィールドとして有しています。東洋英和幼稚園、大学付属か

4年生によって代々受け継がれている学科全員参加の運動会イベント「ブレイデー」



えで幼稚園はもちろんのこと、強いつながりのある園や施設では卒業生が働いています。実習生に対して理解のある受け入れ先で教育・保育実習ができるのは保育子ども学科の大きな特徴の一つであり、学生が安心して実践を積めるのは何より

の強みだと思います。

保育子ども学科には多様なバックグラウンドの学生がいて、皆がキリスト教保育を目指しているわけではありません。しかし、実習現場でキリスト教を基盤とする保育を体感して、大学で学んだ内容への理解が深まり、子どもを主体とする保育を身をもって知れる実習は、学生の保育観にも大きな影響を与えています。

広い視野を持った 保育の専門家を育てる

学士号を取得する4年制大学として、実践的なスキルだけでなく、学問的な知識を身に付けることも重視しています。学生たちは、4年かけて保育・教育について多面的にとらえ、社会的な課題の解決法や自分が目指す保育についてじっくり考えることができます。



学生一人ひとりに寄り添うきめ細かな少人数教育で、専門的なスキルもしっかりと身に付く

3年次より「子どもと国際」「子どもと感性」「子どもと心理」の3つのコースに分かれ、専門性を持って各自で研究を進めます。各コースにフィールドワークの授業を設けており、国内外の園、施設の見学や、農場で食育を学ぶ体験などを通して、より広い視野で保育について考え、4年次に研究テーマに沿って卒業論文を執筆します。

さらに、少人数制であることを生かした手厚い指導、サポートも東洋英和ならではのです。

ゼミナールの担当教員だけでなく、教育・保育実習、就職活動の指導教員、職員がおり、4年間を通して学生一人ひとりに寄り添います。学習だけでなく礼儀作法、服装について

も指導しますので、卒業生の社会的評価が高いのは、きめ細かい指導の成果ではないかと思えます。

共働き家庭が増え、質の高い保育者の需要が高まるにつれ、人手不足、厳しい労働環境など、日本の保育は多くの課題を抱えています。

愛情をかけて育てられた東洋英和の学生が苦勞してまで保育、福祉関係の仕事に就かなくても……と考えるかもしれません。しかし、恵まれた環境で育ったからこそ、社会で果たすべき役割があり、多様な人々に寄り添うことができるのではないのでしょうか。保育の人材育成は、国や社会の基盤となるものです。これからは、子どもたちの幸せを考え、成長を見守る保育者の仕事に誇りを持ち、社会貢献できる学生を育成していきたいと考えています。



キャンパス内にある自然豊かな「英和の森」。子どもと保護者を招待した自然遊びなども行われる

向上心を忘れずに保育者として成長し続けたい

実習では、指導担当の先生に「他の先生の良いところを見習って、自分の保育観を作り上げてほしい」と指導していただきました。自分が今何をすべきか考えながら行動するよという助言もいただき、自分の果たすべき役割を担えるよう常に心がけていました。子どもたちはすぐに私の名前を覚えてくれて積極的に接してくれました。最初は打ち解けてくれなかった子も、実習の終盤ではたくさん話してくれたことは自信になりました。私が主体となって担当クラスの保育指導を行った時は教材選びや進め方に苦労しましたが、子どもたちの楽しむ姿を見てとても嬉しかっ

たです。お誕生日会や避難訓練などにも参加でき、運営のノウハウを学ぶ貴重な経験もできました。

子どもを取り巻くさまざまな方々との交流をスムーズに進められたのは、大学で挨拶や報告・連絡・相談といった社会人の基礎を教わったおかげだと実感します。保育の専門的な指導にとどまらず、実習を進めるうえで大切なことを事前にしっかりと指導してもらったことで次につながる大きな成果を得られました。この経験を糧に、子どもや保護者の気持ちに寄り添い、明るさを忘れず、常に向上心を持ち、成長し続ける保育者になりたいです。



実習…▶ 幼稚園

人間科学部保育子ども学科 4年
近藤 理菜さん
実習先：私立幼稚園

「先生」と呼ばれる嬉しさを糧に歩み続けたい

実習準備の授業では、私たち学生のために思って、先生方は厳しく真剣に指導してくださいました。実習を前にした不安な思いにも真摯に対応していただいたことが安心感になり、頑張ろうと前向きな気持ちになれました。準備を重ねて臨んだ実習でしたが、対応に苦慮する場面も数多くありました。たとえば、着替えの時間でも遊ぶ子どもがいると、見守りと援助の線引きの難しさを感じましたし、声がけのボキャブラリーの少なさは、今後改善すべき課題として認識できました。それでも、「先生」と呼ばれ「一緒に遊ぼう」と誘ってもらえるなど、この学びを続けるモチベー

ションとなる出来事もたくさん経験しました。「さまざまな経験をして自分のキャパシティを大きくすることが必要」と実習先の先生に教えていただいたことが印象に残っています。私は「話を聴くことができる保育者」を目指しています。子どもと向き合う姿勢を大切にしながら、一人ひとりの子どもの言葉に耳を傾ける。刻々と移り変わる時代だからこそ、当たり前をないがしろにしない保育者を目標にしています。これからもさまざまな経験を通じて人と関わり、他者を受け入れる包容力をさらに大きく育てたいと考えています。



実習…▶ 保育所

人間科学部保育子ども学科 4年
井口 明音さん
実習先：私立保育園

保育者を養成するという夢をいつか実現したい

発達障がいに関心があったため、そのような子どもたちとの関わり方を実践的に学びたいと考えて児童発達支援センターを実習先に選びました。言葉でのコミュニケーションが難しい子どもが多かったため、心を通わせる難しさを感じる日々でした。しかし、子どもたちと思いが共有できたと「つながり」を感じる瞬間もあり、そんな時には楽しさを覚えると同時にやりがいも感じられました。子どもによって、何に関心をもっているか、どんな伝え方が適切かは異なります。日常的な触れ合いを通して、子どもたちと真剣に向き合い、相手の心

に近づく努力が大切だと感じました。実習後の指導では、大学の先生方が実習先で私自身が見たことや感じたこと、子どもとのエピソードに対して「そんな場面が見られたのね」「それはいい経験だったわね」と共感的に、楽しそうに聴いてくださったのが印象的でした。私が目指すのは「子どもと一緒に保育を作り出す保育者」です。目の前の子どもたちが一番楽しいと思う活動を通して、豊かな保育を展開していける保育者になりたいです。そして、いつかは、自らの経験を生かして、保育者養成にも携わりたいと考えています。



実習…▶ 施設

人間科学部保育子ども学科卒業
(2022年3月)
高柳 うららさん
実習先：公立
児童発達支援センター

From the Garden of Kaede



4月23日(土)に保育子ども学科のプレイデーが3年ぶりに開催されました。
4年生が主体となり1年生～3年生を招待して行う団対抗の運動会です。
保育の現場で行うような運動会のプログラムを体験します。

新たな可能性を感じて
2021年度かえで祭より

新

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度のかえで祭は初めてオンライン形式での開催となりました。これまで経験したことのない運営方法に対して、どのように準備に取り組んだのか、また今年のかえで祭開催への期待を込めて、前回実行委員長の城守さんに話を聞きました。

人間科学部人間科学科4年
2021年度かえで祭実行委員長

城守 夏恋



—2021年度かえで祭をオンライン開催すると決めたのはどうしてですか。

当初オンラインと対面のハイブリット形式での開催案を進めていました。感染の収束が読めない状況が続く、確実に開催することを第一に考えて完全オンライン形式での開催を決定しました。20年度のかえで祭は

新型コロナウイルスのために中止を余儀なくされました。2年連続の中止は何としても避けたかったのです。学園祭を経験した学生がいなくなってしまうという危機感もありました。
—準備で大変だったことや気づいたことはありますか。

準備期間中も対面での活動が制限されていたので、どのように実行委員全体の意識を高めていくかという点を一番に考えました。直接会ったことが無いメンバー同士で、積極的に意見を出し合うというのはとても難しいものです。またアイデアが生まれても、さまざまな制限下では形にすることができず、もどかしさも感じました。特に、これまでの学園祭の中心の一つであった食品関係の販売や、新規の物販の企画などが全く成立しなかったことは悔しさが残ります。一方で、オンラインでの活動や開催ならではの良かった点もあります。多くの大学活動がオンラインになったことで、自由に使える時間が増え、委員各自の生活様式に合わせた活動が可能になりました。コンサート企画は、事前収録だったのでも、リハーサルの時間を多く確保することや、スタッフやアーティストの方と十分にコミュニケーションをとることができました。アーティストの方自身にも満足していただけるコンサートに仕上がったと思います。

トークショーも、タレントの方がサービスピリットで、予定を超えてお話ししてくださったのですが、収録動画の配信だったため、ありがたく全てのトークを使わせていただきました。21年度初めての試みだった有志団体・クラブ活動企画では、実行委員も驚くような面白い企画が集まりました。制作された動画からも参加者皆さんの熱量を感じました。

—改めてかえで祭の意義は何だと思えますか。

大きく分けて2つあると思います。1つは、学生が英和生としての自覚を持つことができることです。学年や学科の枠を超えて、大学全体で1つの目標に向かって活動ができる機会は他になかなかありません。英和生みんなが一致団結することができる貴重な経験をすることができたと思います。もう1つは、一人ひとりが成長できる場であるということです。私自身、一人ではどうすることもできない問題に直面することもありました。ですが、仲間と力を合わせることで解決策を見つかったり、新しい視点を発見することができたりしました。実行委員の経験を通じて、改めて仲間の存在のありがたさに気づかされました。自らの意見をきちんと発言することや協調することの重要性も学ぶことができたと思います。
—終了して思ったことは何ですか。



かえで祭実行委員会のメンバーと

チームワークをよくするためにコミュニケーションをたくさんとると、そして何よりも挑戦する気持ちが一番大切だということです。タイトなスケジュールの中でも奮闘してくれた各セクションチーフ、企業の皆様、学生支援課の担当職員の方には本当に感謝しています。

—22年度かえで祭に向けた応援メッセージ

これからも社会の不安定さは変わることはないと思いますし、思うようにならないことも多いかもしれません。ですが、周りを見渡せば支えになってくれるたくさんの仲間や大人がいます。どんなにいろんな人を巻き込んでいきましょう。かえで祭は実行委員だけでなく全英和生で作り上げるものです。英和生みんなです。新しいかえで祭へとアップデートしていきましょう。応援しています。

小学部のシンボルツリー 「イチヨウ」

小学部教諭 佐々木喜久

2

2000年に小学部校舎が改築されて新しくなりましたが、小学部のイチヨウの木は健在で同じ場所にあります。校庭に2本、校門そばに1本あり、校庭のイチヨウはタイサンボクと並んでとても素敵な小学部のシンボルツリーになって



銀杏拾いのお手伝い

います。毎年夏には緑色の葉を茂らせ、秋には黄色に色づき、冬にその葉を落とします。

秋になるとたくさんの葉が舞い落ち、子どもたちは、その葉をかき集めては空に向かって投げ上げて遊びます。まるで黄色の紙吹雪のように舞う葉はとともきれいで、見ていてもほほえましくなります。そして、1年生の教室前にあるイチヨウはたくさん銀杏も落とします。正直なところ、この独特なおいには子どもたちも顔をしかめます。確かに教室の中までおいが漂ってくることもあるのです。

さて、四季を通してさまざまな表情を示してくれるイチヨウの木なのですが、用務員さんにとっては大変な季節があります。それは落葉の季節の秋です。校庭は素敵な黄色の絨毯に覆われ、とてもきれいに飾られるのです。しかし、その絨毯の中にはあの銀杏も一緒に落ちています。用務員さんたちは、子どもたちが校庭で遊べるように、登校前に大量のイチヨウの葉と銀杏を掃除し、袋に詰めて裏のゴミ捨て場を持っていくのです。ある時は、用務員の木村シズエさんが、集めた葉の中から銀杏だけを拾い、ご自分の休憩時間に銀杏をきれいにしているところに遭遇しました。「このままだと、みんなゴミとして捨てられてしまっ



朝日を浴びたイチヨウ

から、拾ってみんなに食べてもらえたらと思います……。銀杏にも命がありますからね」という木村さんの言葉に私は心を打たれました。それからというものの、朝、できる時には銀杏拾いをお手伝いするようにになりました。そんな木村さんも2010年に定年退職で東洋英和を去ることになりました。その後も、用務員さんに銀杏を別に拾ってもらおうようにお願いし、今では子どもたちも銀杏拾いのお手伝いをしてくれるようになりました。木村さんの去ったあと、私は木村さんの意思を受けて、銀杏をきれいにし、職場の皆さんに分けてあげられればと思います。はじめのうちは、木村さんがなさっていたように一つ一つ手できれいにしていました。でも、あまりにも大量に落ちるため、手できれいにすることに限界がありました。そこで、拾った銀杏をバケツに入れて水に浸し、壊れたモップの柄を3本組み合わせ、それを使って銀杏を磨

ぐようにしてきれいにするようにしました。時間は短縮できるようになりましたが、とても面倒な作業でにおいもきついです。でも、この作業をしていると、「退職された木村さんの「銀杏にも命がありますからね」という声が、どこからか聞こえてきて、やはり続けていかなければと思うのです。銀杏拾いすることにより神さまからいただいた大きな恵みと、命の大切さを教えられました。この気持ちを子どもたちへも伝えていくことができればと思っています。



毎日、子どもたちを見守るイチヨウ

小学部のシンボルツリー
～タイサンボク～

小学部教諭 風間春乃

小 学部の校庭には、イチヨウと同じように子どもたちを見守り、子どもたちに愛されている木があります。それは、タイサンボクです。

こんなことを教えられました。「タイサンボクは、本来とても大きく生長する木だけれど、小学部のタイサンボクは子どもたちが登りやすいように低い所から枝が生えていて、それを横へ広げてくれているのよ」私は、それを伺い、何十年もタイサンボクに登ってきた小学部の子どもたちとその子どもたちを支え続けたタイサンボクとの歴史を木の形から感じる



毎日、子どもたちを見守るタイサンボク

ることができました。

タイサンボクは、小学部に入学してきた子どもたちには、「木登りができる木」として知られています。ですから、入学したての1年生に「木登りができる木は、どこですか。わたし早く登りたいな」と何度も言われたことがあります。タイサンボクは、確かに校庭で唯一登れる木なのですが、それは3年生からという決まりがあります。ですから、低学年の子どもたちにとっては、お姉さんになつたら登れる「憧れの木」なのです。

3年生になると、子どもたちは「いつタイサンボクに登れるかしら」とわくわくします。でも、すぐには登ることができません。子どもたちが、初めてのクラス替えと3年生の生活に少し慣れて落ち着いた頃に、3年生の両担任で話し合い木登りを始めるようにするので。木登りには、いくつかのルールがあります。例えば、木の幹の周りを枝から枝へと飛び移ってはいけません。また、幹や枝にペンキで記された線より先へ行ってはいけません、というものです。木登りは、非日常の「高い世界」を味わえる楽しい遊びであると同時に、危険を伴



朝日を浴びたタイサンボク

う遊びでもあります。そうしたことをクラスで確認した後、担任がついて一人ずつタイサンボクに登る練習をします。上級生が登るのをこれま

でよく見ていた子どもたちは、お姉さんと同じように枝に足を掛けて登ります。地面から恐る恐る足を離して一枝分登ってみる子どももいます。お友だちが登る様子を見ていて、今日は勇気が出ないからやめておくという子どももいます。

大変です」と子どもが血相を変えて走って来るともありません。後者は、お友だちが木から下りられなくなってしまうているケースです。上へ上へと枝に足を掛けて登ったものの、下を見たら体が動かなくなってしまうのでしよう。そんな時は、優しく声を掛けながら下の枝へと誘導したり、抱きかかえて地面に下ろしてあげたりします。

こうして、共に過ごしているタイサンボクのことを子どもたちはどのように思っているのか聞いてみました。すると、「友だちのような大切な存在」とのことでした。また、「一年中、葉っぱの緑がきれい」「大きな白い花がすてき」「枝に座っていると落ち着く」とも答えてくれました。また、木登りはしないけれど、鬼ごっこで身を隠したり、木の下に落ちた葉や花びらで遊んだり、木陰で涼んだりする子どもたちも大勢います。タイサンボクとの関わり方は、それぞれです。しかし、タイサンボクへの共通な想いは、子どもたちの次のような言葉から分かります。わたしは、タイサンボクが大好きだから、大人になってもずっと東洋英和の校庭にいてほしいです」子どもたちがタイサンボクをどれほど愛しているかは、木にも伝わっているように思います。

「コロナ禍」だからから「だけど」へ
 体育祭代替イベント
 スポーツフェスティバル

数学科教諭
 体育祭実行委員長
加藤 講太郎

新 型コロナウイルス感染症第5
 波の最中の2021年8月、

中高部では対面授業が再開されず、
 期末試験直前まではリモート授業と
 なりました。10月になれば感染者数
 も落ち着き、体育祭ができるかもし
 れないと言われていた中ではありま
 したが、対面授業が再開されない時
 点で、体育の授業での準備ができ
 ないことや大学構内への立ち入り
 などを鑑み、体育祭の中止を決定
 しました。

昨年はコロナ禍で早々の中止が決
 まり、一昨年は大型台風の影響での
 延期となつたうえに、雨天での部分
 開催となっていました。体育祭が思
 い描いた形で実施されたのは3年前
 となつてしまいました。

代替イベント スポーツフェスティバル
 体育祭の中止を発表した直後から
 生徒の体育祭実行委員会の中からは
 代替行事の開催を熱望する声が多く
 上がりました。コロナ禍「だから」
 しかたがないではなくてコロナ禍
 「だけど」できることはないか、そ



体育館Aの中学生の綱引き

う思い、体育科の先生と代替案の方
 向性を考えました。

感染症予防、怪我の予防も考えな
 がらも、体育祭の雰囲気大切に、
 代替行事として成立させる、とい
 うのが課題でした。

感染症予防として参考にしたのが、
 球技会でした。コロナ禍における球
 技会は場所ごとに1学年1競技を行
 うことで、学年間の接触を避けるこ
 とができていました。その形式を踏
 襲し、代替行事は場所ごと（体育館
 A・B、グラウンド）に1学年1競
 技、午前と午後に分けて中高それぞ
 れを実施する方向としました。

高校2年生、1年生の体育祭実行
 委員会を中心として、競技やその内
 容、ルールを考えました。怪我や感
 染症の予防を考えながらも、競技に
 は体育祭らしさを感じられるものや、
 いつもやれそうでやれないもの、生
 徒自身がやってみたい競技を選んで

いきました。

最終的にはグラウンドでは体
 育祭の中心競技でもあるリレー
 を、体育館Aでは中学生は綱引
 き、高校生は借り物コンテスト
 を、体育館Bでは棒引きやドッ
 ジボール、玉入れを実施するこ
 とにしました。

最後まで悩んだのは応援合戦でし
 た。応援団の準備が間に合うのか、
 実施できる時間帯はあるのか、全校
 で見るとはどうしたらいいのか、そ
 の一つ一つを高校3年生の団長と協
 議を重ねていきました。

当日の様子

10月18日（月）第1回スポーツ
 フェスティバルが開催されました。午
 前中に高校生、午後に中学生が競技
 を行いました。高校生のリレーや棒
 引き、ドッジボールでは体育祭にも
 負けず劣らず、白熱した熱戦が繰り
 広げられていました。中学生の競技
 でも一つ一つの競技は非常に盛り上
 がりましたが、学年の入れ替え時間
 に対して、競技時間が短く、時間が
 余ってしまうことがありました。そ
 んな時間も、体育祭実行委員会の高
 校生が即興で企画した「実行委員会
 対学生有志による玉入れ合戦」を実
 施したり、時間配分を工夫するなど、
 機転を利かせた運営で盛り上げてく
 れました。



上/高校生の借り物競争
 下/体育館Bの高1ドッジボール

応援合戦は昼に全校生徒が学校に
 いる時間帯を使ってグラウンドで行
 い、高校1年生以下はGoogle meet
 を使って教室のモニターへと配信し
 ました。本来であれば広い大学のグ
 ラウンドで全校が一体となって盛り
 上がるのですが、コロナ禍なら
 ではの一体感が得られ、会全体に華
 を添えてくれたように思います。

全校が参加する行事を一からつく
 っていくことは、生徒にとっても教
 員にとっても減多にない経験でした。
 行事には生徒たち自身の熱意が必要
 不可欠ですが、今回のスポーツフェ
 スティバルでは、関係する多くの生
 徒たちがこの行事を何とか成功させ
 るべく、いたるところで力を発揮し
 てくれ、素晴らしい行事になったと
 思っています。

コロナ禍で多くの行事が中止にな
 ってしまいました。withコロナ
 を見据え、今できる形、今できる最
 善のものをこれからも生徒、教員が
 一丸となつてつくっていくべきだと
 改めて感じさせられました。



上/力を合わせ交代で火おこし器を回す
下/「火がついた！」

東洋英和幼稚園
手紙から始まった火おこし

担任 松下有希

き

なんの香りが溢れる10月初旬、園庭の片隅に手紙が落ちていました。この日から年長組の子どもたちと目に見えない妖精パタタのやりとりが始まりました。その後届いた手紙の中に「ひおこし たのしかったよ」というメッセージがありました。子どもたちは手紙を何度も読み返し、想像を膨らませて過こしていました。「私たちも火おこしをしよう！」と実験が始まりました。そう簡単に火はつかず、どうしたら火がつくのか話し合い、石と石を打ち合わせる、ラップの芯にアルミホイルを巻いてみる、木の棒を突き立てて回す等、さまざまな案が出て、一つ一つ実験を繰り返しました。数

日後、火おこしの仕方の絵や火おこしの道具（舞錐式火おこし器）が園庭に届けられました。この火おこし器はただ力任せにしても上手く回し続けることができません。横木を押し、緩めて、押して、緩めて……そのタイミングと力加減がなかなか難しく、長時間回していられます。

「これを使ってパタタも火をおこしたのかな？」と話しながら、コツコツ練習していきました。手紙を見つけた際、妖精からの手紙について何か知らないか年少組の子どもたちや幼稚園中の教師に聞いて回ったり、火おこしに挑戦している間、年中組の子どもたちが園庭中の落ち葉を集めたり、さまざまな関わりも生まれていきました。

木枯らし吹き始めた11月中旬、何回も横木を上下させ、うっすら細く煙が上がり、火種ができ、とうとう火がつかまりました。コツと力と根気が必要な火おこしでしたが、教師の力も僅かに借り、なんとか落ち葉に火をつけることができました。火がよく燃えるように即興の「火おこしダンス」を踊り始め、誰から始まったのやら「燃えろ！燃えろ！」の糸乱れぬコールが響き、大切な火を取り囲んで一気に賑やかになりました。だんだん大きくなった火に幼稚園の畑で収穫したサツマイモを入れ、焼き芋にして美味しくいただきました。

大学付属かえで幼稚園
大きい組の姿に憧れをもつ
～年少組の砂場の姿から～

担任 飯島有佳

か

えで幼稚園には広い砂場があります。砂場では年少組から年長組の子どもたちが交ざり合っていて思いおもいに遊んでいます。年少組の子どもたちは、1学期、2学期の間はプラスチックのシャベルで穴を掘ったり、砂をすくったりしながら、年長組や年中組が金属製の大きなスコップを使って掘っている様子を見ていました。3学期になっていよいよ年少組の子どもたちも金属製のスコップを使い始めました。



スコップで穴を掘る年少組の子どもたち

重さがあるので初めて持った時には足元が少しふらつく子どももいます。最初は保育者が手を添えて、スコップを伝えながら大きなスコップで穴を掘ります。Aちゃんは「大きい組のスコップ、使っているの!？」と驚きながら嬉しそうにスコップを使っていました。

「穴の中は落ちちゃいますよー！」と話しています。Fちゃんは「スコップを使うとたくさん砂が掘れるんだよね」と言っています。大きな穴が掘れたねえ」と言いました。すると、BちゃんやDちゃんは「ほんとだ！大きい組みたい大きな穴になったねえ！」

「穴の中は落ちちゃいますよー！」と話しています。Fちゃんは「スコップを使うとたくさん砂が掘れるんだよね」と言っています。大きな穴が掘れたねえ」と言いました。すると、BちゃんやDちゃんは「ほんとだ！大きい組みたい大きな穴になったねえ！」

1月の気持ちよく晴れた日の午後、BちゃんとCちゃんがスコップで穴を掘っていました。すると、D

年少組の子どもたちは砂場で遊びながら、年長組や年中組の子どもたちの姿を憧れて見ていました。そしていつか自分もやってみたいという思いを持っていました。まっていたその時がきて、スコップで穴を掘った子どもたちはずんだ気持ちを私は感じました。このような経験の積み重ねが子どもの成長につながっていくことでしょう。

中高部のキリスト教教育 「敬神奉仕」の精神を受け継ぐ生徒たち

学院の中で、一番長い歴史を持つ中高部。創立以来、学校が盛んな時も困難な時も、戦時中も現代のコロナ禍でも、神様を礼拝し、祈る姿勢は途絶えることはありませんでした。奉仕の実践は、王女会（創立後、間もなく校内に組織されたクリスチャン生徒によるボランティアなグループ）から、今もYWCAや宗教活動委員会、諸活動、諸団体に引き継がれています。「敬神奉仕」の精神を受け継ぎ、学び、実践する現在の生徒たちの様子をご紹介します。

花の日礼拝

毎朝の礼拝と終礼



礼拝を通して神様から注がれている愛に気づき、希望を持って1日を始め、終礼時の生徒の感謝の祈りをもって終わる学校生活。これが中高部教育の土台として受け継がれ、固く守り続けられてきたことです。

朝の礼拝は、教員が短いお話しとお祈りをしますが、月1、2回は近隣の教会の牧師先生をお招きし、お話しを伺います。そして英語ネイティブの先生による英語礼拝、音楽選択者（生徒）による音楽礼拝、生徒礼拝、クラス礼拝があります。

毎朝の礼拝の他、中1歓迎礼拝、イースター礼拝、花の日礼拝、創立記念週間礼拝、クリスマス礼拝などの特別礼拝を守ります。



生徒礼拝

司会、奏楽、お話しを高3が担当する年5回（クラス毎）の礼拝です

クラス礼拝

高等部は輪番でメモリアルチャペルにて守ります



クリスマス礼拝

中1による聖誕劇（タブロー）をもってイエス様の御降誕を祝います

仲間と共に聖書を生きる言葉にしよう！

🌸 クラスの仲間と共に学ぶ

毎週1時間ずつ6年かけて聖書を学びます。授業では聖書そのものの説明はもちろん、「敬神奉仕」の精神、キリストの生涯とその教え、さらに世界の動きを理解するために必要なキリスト教の歴史を学び、聖書に基づいて行動するとはどのようなことかを考えていきます。このような学びの中で、人生のみちしるべ、また一生を通して心の支えとなるものを身に付けていきます。

また、中1は年8回ディアコニア活動を行います。ディアコニアはギリシア語で「人に仕える」という意味で、点字・車椅子の体験学習や施設訪問などを通して、奉仕を実践するために必要な知識や技術を学びます。



中1ディアコニア
クラスのグループメンバーと楽しみながら体験して学びます

🌸 クラス、学年を超えての校内活動

キリスト教精神を生徒の立場で実践している組織が、YWCA（キリスト教女子青年会）と宗教活動委員会です。YWCAは世界YWCAのプランチとして、宗教活動委員会は生徒会の一つとして、共にキリスト教活動の展開を目指し、「敬神奉仕」の精神を具体化するために有志の生徒が活動しています。活動には、児童養護施設でのボランティア活動、自然災害などの被災者支援活動、福祉施設への献品の募集・発送などがあります。

宗教活動委員会
アドベントの準備として
校内クリスマス装飾



YWCAの活動
まずは礼拝から！
活動の前には生徒有志で
礼拝を守ります

🌸 さあ、今度は外へ、自然と共に

節目となる学年で宿泊行事を行い、聖書に基づいてどのように歩めば良いかを考えます。中1オリエンテーションでは聖書の「善いサマリヤ人」のたとえから「奉仕」について学び、キリスト教的な祈りのある生活を身に付けます。高1カンファレンスでは高校生としての過ごし方を考え、高3修養会では中高6年間のキリスト教教育のまとめと卒業後の生き方への方向づけを行います。その他の諸行事もキリスト教をベースとして行われています。



高3 修養会（伊豆 天城山荘）

6年間のキリスト教教育を振り返り、
これからの自分の生き方を考えます。
最後の夕べはキャンドルサービス。
先生と仲間のお話を聞きながら、
静かに自分と向き合う時間



中2 夏期学校（野尻キャンプサイト）

野尻湖を眺めながら、朝の礼拝



夏期修養会 （追分寮）

東日本大震災で被災した
福島県の原町聖愛こども園の
年長さんをお招きします。
日中は楽しく交流し、
夜には被災地の現状を伺って
自分たちができることを
考えます

教員紹介

—専門分野とその分野を学んだきっかけを教えてください。

私の専門分野は朝鮮半島を中心とした北東アジア地域の国際関係です。特に安全保障について研究しています。国際コミュニケーション学科では、朝鮮半島に関する科目を担当しています。今でこそ、朝鮮半島の核問題や日米韓関係に関心を寄せていますが、韓国に興味を持つようになったきっかけは、大学2年生のときに韓国ドラマを好きになったことでした。

—そんな身近なきっかけだったので、

韓国ドラマをきっかけに「韓国に住んでみたい!」という思いが強くなり、大学4年生のときに梨花女子大学での協定校留学を経験しました。さまざまな国の学生たちと一緒に学ぶなかで、国際関係とくに朝鮮半島を勉強したいと思い研究の道を志しました。

—日韓関係と聞くとなんだか難しそうです。

近年では「歴史問題」をめぐる日韓関係が悪化していますよね。確かに、簡単に解決できる問題ではありません。大切なのは、相手の立場になって考えることではないでしょうか。これは学生にはいつも伝えていっているのですが、「なぜ韓国はこのよ

▶▶▶ 学生からのメッセージ



国際社会学部
国際コミュニケーション学科4年
(左) 兼松 あこさん
(右) 中島 萌果さん

富樫ゼミでは皆で議論を行う時間が多く、自分で考えることを大切にしています。議論の途中で先生が的確なアドバイスをくださるので、違った視点から物事を考えることができるようになります。また、自分が足りなかった部分を明確に知ることができ、社会に出ても応用できる力を得ることができます。とてもメリハリのある先生で授業の前後は気軽に話すことのできる先生です。



大学

国際社会学部
国際コミュニケーション学科
富樫 あゆみ 講師

ソウル大学校政治外交学科政治学専攻修了。政治学博士。2019年4月に着任。趣味は、韓国ドラマ鑑賞、料理。食べることが大好きなので、休日に韓国料理を作って楽しんでいます。



コロナ禍の前は、韓国でのゼミ合宿を実施していました

うな主張をするのだろうか」、「韓国の目線から韓国のストーリーを理解することが日韓関係を考えるときには大切だと思っています。」
—最近では韓国文化に関心がある学生が増えてきましたね。

そうですね。新入生が自己紹介するときに、好きな音楽でK-POPをあげる学生がとても増えました。私が最初に韓国ドラマを好きになったときは、ヨン様ブームの時代だったので、そのときに比べると大きな変化を感じています。韓国に留学を希望する学生も増えてきていますね。とてもうれしく思います。

—英和生へメッセージを!

一つの事象をさまざまな角度から考えられる力を養ってほしいと思っています。世界は思っている以上に複雑です。興味があること、知りたいたいと思っていることを明らかにするために、さまざまな視点が必要です。たくさんさんの情報に接し、いろいろなものの見方を学ぶことを通して、自分の意見はなにかを考えてほしいと思っています。もう一つは、自分の「好き」に敏感であってほしいと思います。「好きなこと」のその先には、みたこともない世界が広がっています。「好き」をきっかけに世界を広げてほしいですね。

—先生になつたきっかけを教えてください。

高校時代、私は多くの良き友人たちに恵まれました。けれどその中学校になじめず、人生の志も探し出せず、傷つきながら人知れず辞めていった友人がいました。その当時の私は何もすることができませんでした。その無力感の中で、いつの日か人に寄り添うことのできる大人になりたいと思い、この道を志しました。そんな思いを受けとめてくださり、私を大学の教育学科に推薦してくださいました。宇佐見邦輔先生が、後に青山学院から東洋英和の高等部の部長先生としていらしたときには、不思議なご縁を感じました。

—クラスの子どもたちと何をするのが好きですか。

一番は、歌を歌うことです。さんびかはもちろん、私の作った歌を紹介すると、みんな心をこめて歌ってくれます。また、学芸会と一緒に作り上げるのも好きです。4月に新しいクラスの子どもたちと出会ったときから、この子たちが演じるとしたら何がよいかと考え、お話を探します。探すとと言っても、風や空気の中に漂っているように感じるお話の種を見つけ出してピアノの前に座ります。すると、メロディーと舞台上で演じている子どもたちが浮かんでくる

▶▶▶ 児童からのメッセージ



小学部2年
(左) 竹下 琴葉さん
(右) 矢野 菜華さん

・叶田先生はいつもお優しく、私たちにお勉強、生活のこと、いろいろ教えてください。(矢野菜華)
・いつも笑顔でとても優しい先生です。お休み時間には縄跳びと一緒に遊んでくださったり、「間違えても大丈夫よ」といつも優しく教えてください。私はそんな叶田先生が大好きです。(竹下琴葉)



Mitsue Kanada

神さまからの賜物さがし

小学部

叶田 光恵 教諭

青山学院大学文学部教育学科卒業後、東洋英和女学院小学部に着任。2011年、夫の赴任に付き添いマレーシアへ移住。現地で補習校の必要性を感じていた仲間と出会い、ペナン補習校設立に尽力、開校に至る。日本帰国後、小学部へ再度着任。日本基督教団成瀬が丘教会オルガニスト。



これまでの学芸会の台本の一部。1980年代は手書きで書いていました

ので、その映像を書いていきます。自分たちで作りたいという高学年では、あらずじを考えてもらい私は台本だけを書いて演出を任せます。子どもたちが力を合わせて作り上げていく姿を見るのは、頼もしく嬉しいものです。

—小学部で心に残ることを一つあげるとしたら何でしょう。

聖歌隊の担当となったとき、クリスマス礼拝でビバルディの「グロリア」を歌った年があります。私が高校の聖歌隊時代に歌った曲で、そのときの指揮者、川村悦子先生にお話したところクリスマス礼拝で歌ってみましょうということになりました。ラテン語で歌いました。聖歌隊の時間帯だけでは仕上げることが難しい曲でしたので、毎日休み時間にパート練習をしました。子どもたちも必死についてきてくれて、美しい賛美を捧げることができました。思いつきに残る礼拝です。

—英和生へメッセージを！

神さまはその人に一番よいものを与えてくださるお方です。一見、悪いように見えることも、その人に一番の道を示してくださっているのです。

神さまからの賜物を、祈りつつ探し求める、そんな人生を歩んでほしいと願っています。

宮崎落苺さんを偲ぶ

寄稿：林真理子氏



宮崎落苺氏

1925年、東洋英和の卒業生で歌人の柳原白蓮と社会運動家の宮崎龍介との長女として生まれる。白蓮の創設した短歌結社「ことたま」を引き継いで主宰。一方で、「滔天(とうてん)会」を設立し、日本と中国の民間交流に尽力した。華道山村御流名誉華務職。2009年の「東洋英和楓の会」設立から役員を務める。2022年1月20日、96歳にてご逝去。

今 から30年近く前、中央公論社(現・中央公論新社)の資料室で、「婦人公論」のバックナンバーをめくっていた。「婦人公論」の連載を頼まれていたのだが、主人公がなかなか決まらなかつたのだ。

そうするうちに「柳原白蓮」の記事を見つけた。もちろん白蓮の名前と顔は知っていたが、あらためて写真を見てつくづく美しい人だと思った。うりざね顔の気品ある顔立ちには、かすかな憂いもある。「大正三美人」の一人と称されたほどの美貌だ。

彼女は筑豊の炭鉱王・伊藤伝右衛門氏の妻であったが、たまたま知り合った帝大生・宮崎龍介と恋に落ち出奔する。この際、新聞に発表した夫への絶縁状が大変な話題となった。大正デモクラシーの象徴ともいえる「白蓮事件」である。「柳原白蓮を書いてみたい」と編集者に話してみたところ、さつそく「家族と連絡をとってくれたのである。その時宮崎落苺さんに初めておめにかかった。当時は早稲田大学教授だった。主人の智雄氏も健在で、お二人とも快く私たちを迎え入れてくださった。思うに、「作家林真理子」よりも、インテリのお二人には「中央公論社」というブランドが効いたので

はと今でも思っている。宮崎家は蔵もある大きな日本家屋であった。もともとの住所は白であったのだが、「西池袋」というかなり残念な名前に変えられていたのである。立派な玄関には、落苺さんの主宰する短歌結社「ことたま」「滔天会」の表札がかかっていた。

白蓮は伯爵家令嬢で、大正天皇の従妹という血筋であるが、こちらもすごい。宮崎龍介は、宮崎滔天の息子である。歴史に残る革命家で、日本亡命中の孫文を助けたことでも有名だ。

つまり落苺さんの中には、お母さまからの華族の血、お父さまからの革命家の血が流れていたことになる。が、私がお見受けしたところ、お母さまの方からの影響が断然強い。上品で穏やかな方、というのが第一印象であった。口調もおっとりとしていて、その頃まだ東洋英和の中学生だったお孫さんである資子さんの髪を撫でながら、「この子が私の生き甲斐なんです」と何度もおっしゃったのを憶えている。

が、その後私は落苺さんの決断力や行動力に何度驚き、感謝したことだろう。白蓮と龍介は、初めて会ったその日から、四百通近い手紙をかわしていた。おそらく家族の反対もあったと思うのであるが、落苺さんは土蔵から探ってきた手紙の束を私に提供して下さった。これによって私は小説『白蓮れんれん』を書いたのである。そして編集者も加わり、落苺さんといろいろなところに取材旅行をした。資子さんとも一緒に蓼科高原に行ったことも忘れられない。ここは宮崎家の別荘があったところである。そこで昔の仲間を紹介して下さったりと、本当に協

力いただいた。というのも、私たちに本当の母親の姿を知ってもらいたい、というお気持ちだったからだろう。その後もNHKの朝ドラ「花子とアン」によって、白蓮ブームが起り、何度かおめにかかる機会もあった。「九州時代。母は何度も死のうと思っただろうです」と何度かおっしゃった。波瀾万丈に生きた白蓮と違い、落苺さんはお幸せな人生であった。最後までしっかりとされ、孫やひ孫に囲まれたご日常だったと聞く。それを聞いて、安堵すると共にあらためて感謝の念を強くした。

寄稿者 林真理子氏(作家)

1954年、山梨県生れ。コピーライターを経て、1982年エッセイ集『ルンルンを買っておうちに帰ろう』が大ベストセラーになる。1986年『最終便に間に合えば』『京都まで』で直木賞。1995年、東洋英和の卒業生で歌人の柳原白蓮の生涯を描いた『白蓮れんれん』で柴田錬三郎賞を受賞。そのほかの著書に『西郷どん!』など多数。直木賞選考委員。



英和生集まれ!

Maple Mall



一人ひとり丁寧にご満足のおゆく診療を心がけています

せしもクリニック 皮膚科・形成外科

瀬下 由美子 (旧姓玉井 1975年高等部卒)



住所
調布市小島町 2-45-6 1F

TEL
042-443-1241

URL
<http://www.seshimoclinic.com/>



Check!

皮膚科、形成外科、アレルギーが専門です。皮膚は体内の鏡、全身疾患の診断や原因治療を行います。特に遅延型アレルギー、フットケアは大学病院でも専門外来を行っています。またクリニックコンサートも行っています。

やさしい肌ざわりの日本製ガーゼ専門店です

やさしいガーゼ・オブラブ

西澤 真由美 (1982年高等部卒)



住所
台東区浅草橋 4-6-8-101

TEL
03-3863-1411

URL
<https://www.ovlov.jp>



Check!

出産祝いにぴったりなガーゼギフトを豊富なデザインからお選びいただけます。ご配送やネット・電話注文も承っております。浅草橋の一角、目立たない店構えですが、紺色ハトの旗が目印です。お気軽にお越しください。

親子の生活に彩りを……

アトリエのある てらこや maple

佐田 真有子 (旧姓宮崎 2001年高等部・2005年大学卒、2009年大学院修了)
高橋 彩 (旧姓中野 2001年高等部卒)



住所
世田谷区等々力 1-22-36

TEL
090-4594-5103

URL
https://peraichi.com/landing_pages/view/mapletodoroki



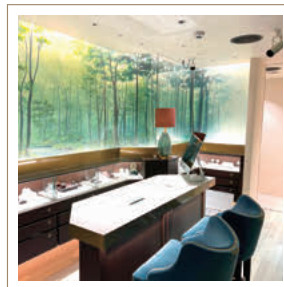
Check!

幼児教育と芸術教育、双方の視点から親子の学びの環境を整え、子どもの感性の育ちを支えます。0歳から15歳まで、各種クラスを用意。小学生向けに、第三の居場所……フリースクールも開講しています。

創業 99 年 表参道にあるオーダージュエリーのお店

ルブエ 石の花

森田 亜里奈 (旧姓二宮 1996年大学卒)



住所
渋谷区神宮前 3-5-10-B1

TEL
03-3478-1487

URL
<http://www.ishinohana.co.jp/>



Check!

ご希望に合わせて、ジュエリーを一点一点丁寧に作りしています。大学卒業時にも記念品としてスクールリングも作らせていただきました。お手持ちのジュエリーの修理リフォームも可能です。お気軽にご相談ください。

「東洋英和楓の会」ってどのような組織ですか？

東洋英和楓の会は、学院創立 125 周年を控えた 2009 年、改めて東洋英和の建学の精神である「敬神奉仕」を柱に、全ての英和関係者や同窓会や後援会等をつなぐオール東洋英和の会として設立され、学院諸団体の会員のほか、同窓生のご父母やご親族はじめ学院をお支えいただくご意思のある方々により構成されています。

これまで、学院の最新情報および卒業生等の楓の会会員の活躍をお知らせするため、同窓生等への「楓園」の定期送付や、会員相互の交流の場である講演会やコンサートなどを毎年開催してきました。現在はコロナ禍にあり各種イベントの開催が困難ではありますが、中高部「村岡花子基金」、大学「新型コロナウイルス対策学生修学支援募金」の募集のチラシを「楓園」に同封し同窓生等へ送付することにより、学院への応援をお願いしています。

卒業生、そのご家族、たくさんの方々により
楓の会は支えられています。



We are Toyo Eiuwa

イラスト：大塚 理名
(2020 年高等部卒)

コロナ、断捨離、史料室 — 寄贈品が増えていきます —

コロナ下で「ステイホーム」が奨励され、「おうち時間」も増えた昨今、片づけをされる方が多いためか、史料室への寄贈が増えていきます。

そして、「どんなものを寄贈するのがよいのかしら?」というお問い合わせもいただきます。もらつてうれしい寄贈品は以下の通りです。

◆年史類：在庫数が少ないのは、『東洋英和女学院五十年史』

『東洋英和女学院百年史』です。

そして、創立二十五周年(1909年)の記念冊子はコピーしかありません。現物は非常に貴重です。

◆同窓会報：明治後期から大正初期の会報の欠号が多いです。

◆女学校・中高部卒業アルバム：所蔵がない卒業年は1935年以前、1945～1950年、そして1954年がど

うしても見つかりません。

◆行事プログラム・しおり：書き込みがあってもOKです。

◆在校中のノート：戦前・戦後期のものがあれば是非ご寄贈を。

◆プリント・各部発行物：学校からのおしらせや冊子など。捨てがちですが大事です。

このほかにも、意外なものが史料室にとつては「お宝」になります。

中には、お気遣いから、お手元に置いておきたいものまで送ってくださるうとする方もいらっしゃいます。が、あまり断捨離しすぎないように、よろしくお願いいたします。



皇紀2602年(西暦1942年)の卒業アルバムをご寄贈いただくことにより、欠号が補完されました。

- 「史料室だより」No.98「特集 東洋英和の音楽教育③小学部の音楽教育④かえて幼稚園・短期大学・大学の音楽教育」は、右記のURLもしくはQRコードからお読みいただけます。 <https://www.toyoeiwa.ac.jp/archives/publications/>
- 史料室 TEL：03-3583-3166 / FAX：03-3583-3329 ホームページ <https://www.toyoeiwa.ac.jp/archives/>



学院同窓会より

同窓会の歩み

東洋英和女学院同窓会は、1884年東洋英和女学校開校の11年後1895年に設立されました。その後は、社会の変化や学院組織の変遷と共に時には形を変えながらも、建学の精神である「敬神奉仕」の教えを大切に120年以上にもわたり歩みを進めてまいりました。今後も神に仕え人に寄り添う気持ちを大切に歩みを進めるための話し合いをもってまいります。

『主よ、
変えられないものを受け入れる心の静けさと
変えられるものを変える勇気と
その両方を見分ける英知を我にあたえたまえ』
ラインホルド・ニーバーの祈り
この祈りを心にとめ、全ての会員の皆さまの拠り所となる会となりますよう進んでまいりたいと思っております。



鎌倉彫

初代学院同窓会長 上野 美代子さん作
撮影：雨宮 真梨さん (2006年卒 東光会)

大学同窓会 楓美会より

楓美会ホームページについて

皆様、ごきげんよう。
東洋英和女学院大学同窓会 楓美会です。
今まで会員の方に活動をお知らせする方法がハガキと会報という手段のみでしたが、多くの会員より(コロナ禍ということもあり)時代に合ったやり方を進めてほしいと、数年にわたり問い合わせとご要望をいただいております。話し合いを重ね楓美会総会において承認をいただいたことを出発点として、現在楓美会HP作成が進んでおります。

HPには、今までに発行した「楓美会会報」も掲載予定です。今後楓美会会員はもちろん、在校生や未来の英和生等、関心のある皆様に楽しんでいただけるようなコンテンツを企画していきたいと思っております。「楓美会」と検索し、ご覧いただけますたら幸いです。

※楓美会HP運営開始：2022年冬ごろ予定
(リリース時期は変更する可能性があります)



楓美会HPイメージ